

## I <報 告>

2023年1月4日(水)～6日、「海外人権スタディーツアーin 沖縄」を実施しました。沖縄中部を廻る3日間22名の参加でした。

沖縄中部は、沖縄戦では沖縄本島米軍上陸の地であり、戦後多くの米軍基地が押し付けられ、今なお住民の生命が危険にさらされています。そして、その中から、沖縄の平和運動の基が生まれ、今も役場なども含めて反戦の態度を明確に貫いています。その地で長く活動をされてこられた方々と会い、思いに触れ、今の自分たちの立ち位置を問おうというものでした。

沖縄愛楽園では、新型コロナウイルス感染症対策で入所者の方との交流はできませんでしたが、交流会館学芸員の辻さん、鈴木さんから、沖縄戦、米軍統治、本土復帰下のハンセン病患者や家族の方々のことをうかがいました。被差別当事者と時間を共有してきた方たちだからこそ伝わってくる熱い思いに、ハンセン病問題への向き合い方を問い直す機会となりました。

村の西海岸全体が米軍上陸の地となった読谷村。戦後も住民は土地を奪われ基地を押しつけられ、生活や生命さえも脅かされてきました。しかし、村民の声は政府、ヤマトにはなかなか届きません。それでも活動は続いています。読谷村で知花さん、金城さんとお会いしました。

チビチリガマ・シムクガマを知花昌太郎さんに案内していただきました。その後、お父さんの知花昌一さんにご自宅でお会いしました。若者に託そうという願いと、若い世代の方が自分らしい平和運動を模索する姿に、運動の継承発展への力強さを感じました。

金城実さんには、『恨之碑』の現地で、碑に込められた思いやレリーフで表現したものを話していただきました。また、「大阪から戻された作品」『解放へのオガリ』、『戦争と人間』などの作品も見せていただきました。アトリエでは、沖縄・被差別部落・在日朝鮮韓国人に対する人権侵害への怒り、人間解放への切なる熱い思いを伝えていただきました。

伊江島では、沖縄の非暴力闘争の原型を作られた阿波根昌鴻（あはごんしょうこう）さんから運動を受け継いで、「ヌチドゥタカラの家」から発信を続けておられる謝花悦子さんにお会いしました。ご自身の沖縄戦体験、阿波根さんと共に歩んでこられた戦後、そして今の政治に思うこと。80歳を越え全身から絞り出すような訴えは、私たちにストレートに伝わってきました。

そして、お世話をしてくださったバスガイドさん。企画やバスの中の会話を聞いて、ご家族の沖縄戦体験や、「沖縄戦を話すと基地問題に行き着く。基地問題を語ると沖縄戦につながる。」、平和行進に参加していることを、自分の言葉で話してくださったのが印象的でした。

また、参加者の交流もわずか3日でしたが、これからの財産になる濃いものだったと思います。詳しくは、報告書、報告会、機関誌『リベラシオン』でお伝えしていきます。思いのバトンは継いでいかないとね！（高松美保子）

## II お知らせ①

- (1) 部落史研究部会/史・資料プロジェクト合同第7回研究会  
日時：2023年1月14日(土)14:00～  
内容：問題提起

テーマ「京築地方における部落史の一断面」

問題提起者 加来 康宣さん(会員)

場所：古賀市ししぶ交流センター（JRししぶ駅西口）

（古賀市日吉3丁目14-3 TEL092-942-3243）

参加費：500円

(2) 第210回定例研究会（公開講座）

日時：2023年1月22日(日) 14:00～16:00

内容：講演①「『感染症と部落問題－近代都市のコレラ体験－』を執筆して」

講師：関儀久さん（本研究所理事）

講演②「関儀久『感染症と部落問題－近代都市のコレラ体験－』の射程」

講師：石瀧豊美さん（イシタキ人権学研究所所長）

場所：春日市クローバープラザ5階 505研修室

（福岡県春日市原町3丁目1-7）

資料代：500円

(3) 第7回啓発部会

日時：2023年1月28日(土)13:00～16:00

場所：田川市民会館

テーマ：「今日の啓発の在り方について」

(4) 第4回ジェンダー部会 森崎和江『からゆきさん』を読む 学習会

日時：2023年2月26日(日) 14:00～ ZOOM同時開催

講師：うりう ひさこさん（園田久子 本研究所副理事長）

会場：福岡県ボランティアセンター会議室（福岡県吉塚合同庁舎5階）

◇事前予約制です。締切2023年2月24日(金)

問合せ：（電話）092-645-0388／0387（FAX） 担当：田中

(5) 会員より～映画『オレの記念日』

【冤罪 布川事件】を取り上げた『オレの記念日（金聖雄監督）』が2023年1月6日からKBCシネマ1・2で上映されています。会員の吉田到さんから紹介です。

（KBCシネマ電話092-751-4266）

< \* 研究所主催の各部会・講座の開催等の詳細については、ホームページをご覧ください。 >

### Ⅲ お知らせ②

(1) (公社)福岡県人権研究所「2023年度研究プロジェクト研究委託」の公募について

\* 締切は、1月末までです。

☆ホームページ

<https://www.f-jinken.com>

〔人権研究所の本〕

新谷恭明『校則なんて大嫌い！－学校文化史のおきみやげ－』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とは－』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

森山沾一・和智俊幸・横田司・坂田美穂

『殉義の星と輝かん～百年生きる「解放歌」と柴田啓蔵』

部落史研究部会/史・資料プロジェクト

『2020/2021 史・資料プロジェクト報告集「身分」を考える』

木村かよ子「ポストカード」5種5枚セット 500円

☆お求めは

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>

◇みなさんの投稿お待ちしております。

ニュース担当：峰

[info@f-jinken.com](mailto:info@f-jinken.com)（登録解除はこちらから）